

所定疾患施設療養費について

介護老人保健施設において、入所者の医療ニーズに適切に対応する観点から肺炎・尿路感染症・带状疱疹・蜂窩織炎・慢性心不全の増悪の疾病を発症した場合における施設内での対応について、下記のような条件を満たした場合に評価されています。当施設では、所定疾患施設療養費を適切に算定し、入所者の健康や安心に繋げていきたいと考えております。

今後、ホームページにて所定疾患施設療養費に関わる治療の実施状況を公表してまいります。

✿算定条件✿

①所定疾患施設療養費の対象となる入所者は次のいずれかに該当する者。

- イ)肺炎
- ロ)尿路感染症
- ハ)带状疱疹
- ニ)蜂窩織炎
- ホ)慢性心不全の増悪

②所定疾患施設療養費は、上記の疾病により治療が必要となった入所者に対し、治療管理として投薬・検査・注射・処置等を行った場合に算定する。

※同一の入所者について1月に1回、連続する10日を限度として算定。

※所定疾患施設療養費と緊急時施設療養費は同時に算定することはできない。

③肺炎及び尿路感染症については、検査を実施した場合のみ算定できる。

④慢性心不全の増悪については、原則として注射または酸素投与等の処置を実施した場合のみ算定できる。

※常用する内服薬を調整するのみの場合では算定できない。

⑤算定する場合にあたっては、診断名及び診断を行った日・実施した投薬・検査・注射・処置の内容等を診療録に記載する。

近隣の医療機関と連携した場合であっても同様。医療機関で行われた検査、処置等の実施内容について情報提供を受け、当該内容を診療録に記載する。

⑥当該加算の算定開始後は、治療の実施状況について公表する。

公表にあたっては、介護サービス情報の公表制度を活用する等により、前年度の当該加算の算定状況を報告する。

⑦当該介護老人保健施設の医師が感染症対策に関する内容(肺炎、尿路感染症、带状疱疹及び蜂窩織炎に関する標準的な検査・診断・治療等及び抗菌薬等の適正使用、薬剤耐性菌)を含む研修を受講している。

令和6年4月1日